

えほんのおへや通信



2011年12月1日(木)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

今年はまだ本格的な寒さになっていません。動き回ると汗ばむ陽気です。とはいっても師走です。寒さ対策はお済みですか。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」12月号の紹介。

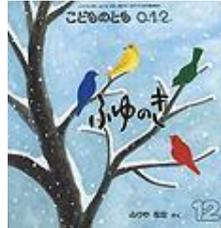
こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「ふゆのき」

ふりやなな作

「あかい とり とんできた」「あおい とり とんできた」…雪が降る中、1本の木に、赤い鳥、青い鳥、黄色い鳥、緑の鳥がやってきました。鳥は1羽ずつ、エサ台の赤い実を取って去っていきます。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「あみものじょうずのいのししばあさん」

こさかまさみ 文 / 山内彩子絵

あみものじょうずのいのししばあさんに、くまの兄弟が「暖かい物を編んでください」と頼みにいきますが、もう毛糸がほんの少ししかありません。できたのは2本の太いひも。でもふたりは大喜びです。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「きこりとテーブル」

～トルコの昔話～

八百板洋子再話 / 吉實恵絵

貧しい働き者のきこりは、森の中の泉のそばで“おーふ”とためいきをつきました。すると、泉の中から白いひげの老人が現れました。きこりがためいきのわけを話すと、ごちそうの出てくるテーブルをくれました。家に帰り・・・



こどものとも

5～6歳向き

「ピッキのクリスマス」

小西英子作

クリスマス・イブ、女の子リナが町で買い物をしている最中に、大切な大切な人形のピッキを落としてしまいます。ピッキはなんとかひとりで家に帰ろうとしますが、途中で馬車にひかれてしまいます。道端で動けなくなっていたピッキを夜中に拾ってくれたのは、サンタクロスでした。



ちいさなながくのとも

3～4～5歳向き

「ゆき ゆき ゆき」

たむらしげる作

冬の空、冷たい雲の中で雪のあかちゃんが生まれました。それは雲の中で少しずつ大きくなって結晶となり、地上へ舞い降りてきます。ひとつひとつ似ているようで、どれもちがうかたち。そっとのひらで受けると、またたく間に溶けてしまいます。



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「ももんちゃん ぎゅっ！」

とよた かずひこ さく・え

童心社

0歳から

「ほっぺ みーせて」よびかけると、ももんちゃんの友だちが笑顔でふりかえります。みんな集まったら、ほっぺでぎゅっ！ 親子のふれあいにもぴったり。みんなつながって生きている。そんな温かい気持ちを感じられる絵本。



【雑感】

絵本を読んでもらっているお子さんの頭の中では、見ているページと次のページの間の実際には見えない絵が心のスクリーンとして映し出されています。そうやって物語を理解し、楽しんでいきます。



ある小学校の先生が、「新1年生の中に、おうちや保育園でよく絵本を読んでもらっていたんだね、と分かる子がいる」と言われました。そんな子は「先生の話をもるで吸い取るように聞いている」そうです。いつの間にか、話を聞いて考え、自分のものにする力がついていたのです。

「じぶんでつくる6さいまでのアルバム」

やまかわゆりこ/作

福音館書店

あなたが生れたのはどんな日だった？赤ちゃんのときってなにを食べていたのかな？お気にいりだったおもちゃはなあに？生れてから今までのこと、絵をかくて、写真をはって・・・ほらね、すてきなアルバムのできあがり。



サンガこども園では卒園記念として作ります。

(年齢は目安です。)